

◆年末年始 恒例祭のご案内

○大祓式・歳晚祭・天長節祭

十二月二十三日 午後一時

半年に一度個々の罪穢れを形代で祓うと共に一年の御加護に感謝を捧げます。 ※参列自由ですが、出来ない場合は、神社よりお配りした形代(人形)にて各自お祓いをし、清々しく新年をお迎え下さい。(お正月様袋に同封)

○元旦祭・家内安全特別合同大祈願祭

併せて、初日を拝む会

一月一日 午前六時半

新年を言祝ぎ、皇室並びに国家の弥栄、氏子崇敬者の平安と幸福を祈念します。 ※どなたでも参列出来ますので、希望者は十五分前までお越し下さい

○暁まいり・小正月(女正月)

一月十五日(日) 午前零時

日本各地にて厄落としての行事が行われており、当社にては、古より特にこの日に厄祓を行っております。

○どんと祭 ◎人形感謝祭午前九時

一月十五日(日) 午前六時～八時半

古いお神札などを清浄な火でお焚き上げし、御神火に無病息災を祈ります。

◎役目を終えた人形等をお預りします。

◆御祈禱のご案内

○新年家族並個人及団体祈禱

一月一日 午前零時～午後五時

※ 随時御奉仕しておりますがお受け出来ない時間(午前九時～十時)もありますので事前にご連絡下さい

※ 元旦午前十時～午後三時まで兼務社出向の為、官司不在につき、川崎の佐藤神主様に「祈禱をお願いしておりますので申し添えます。 二日以後は通常通り予約制にて午前九時～午後四時頃まで毎日行います

家内安全、厄除、商売繁盛、合格祈願 等

○年末年始 神棚祭・氏神祭・家被等

平成二十四年厄年表

お早めにお祓いをお受け下さい ※上・生まれ年/下・数え年

|    |             |             |             |
|----|-------------|-------------|-------------|
|    | 前厄          | 本厄          | 後厄          |
| 男性 | 平元年<br>24歳  | 昭63年<br>25歳 | 昭62年<br>26歳 |
|    | 昭47年<br>41歳 | 昭46年<br>42歳 | 昭45年<br>43歳 |
|    | 昭28年<br>60歳 | 昭27年<br>61歳 | 昭26年<br>62歳 |
| 女性 | 平7年<br>18歳  | 平6年<br>19歳  | 平5年<br>20歳  |
|    | 昭56年<br>32歳 | 昭55年<br>33歳 | 昭54年<br>34歳 |
|    | 昭52年<br>36歳 | 昭51年<br>37歳 | 昭50年<br>38歳 |

二月の行事(予定)

○三日 節分祭

福豆をお配り致しますので各戸で元氣よく豆まきをして下さい

○十一日 紀元節祭・奉祝県民大会

神社では日本の建国を奉祝し建国祭を執り行い、その後市内中心部で行われる祝賀式典に参加します。

○十七日頃 祈年祭 (第一回祭典会議)

収穫を祈る大祭で新嘗祭とともに全国の神社で行われる重儀

例大祭のお知らせ

平成二十四年の例大祭は、更なる復興を願う四月十四日(土)に神輿渡御、十五日(日)に奉祝行事を行いたいと思ひます。

ご報告

例大祭の折にお預りした御浄財をはじめ、婦人部・蛍のイベントなど、皆さんから寄せられた義援金は、八月に日赤や神社庁を通して、贈らせて頂きました。ご協力にありがとうございます。

御案内

ホームページ・坪沼ドットJP

編集後記 今年一年、「絆」がクローズアップされた年でした。当たり前のことが当たり前でなくなってしまった今、「神の道は人の道」、人らしく生きるとは何か、ここ坪沼からこそ発信出来ると思ひます。

# 坪沼八幡神社社報

祈 震災復興 国家安泰



不動宮に祀られている竜神・蛇神の御姿

◆ お正月は家族揃って坪沼八幡神社をお参りし、「家族の絆」を深めましょう  
 ◆ 毎月一・十五日は神社をお参りする日  
**地震でゆがんだ拝殿等を修復致したく、皆さんのご理解・ご協力をお願い致します。**  
**又海沿いの被災神社へも御支援願います。**

坪沼八幡神社社報 第十一号  
 発行所 坪沼八幡神社社務所  
 代表者 宮司 高山晃和

仙台市太白区坪沼字館前東六十九  
 電話 二八一―二五八九 FAX 〇六五一

## ご挨拶

今年を振り返ればただただ震災の年となりましたが、しかし着実に一歩一歩復興に向かっていけると感じます。沿岸部が思うように進まないのが残念ですが、

人々は試練に負けずに懸命に生きています。今まで幾度も国難を乗り越えてきたように、我が国は神の国、誠の祈りによって必ずや故郷を再生し、後世にしっかりと繋いでいけると信じてやみません。

たくさんの祈りが捧げられ、全国の神社でも復興祈願が執り行われております。当社でもその祈りを継続して奉仕しておりますが、その中であらためて、ただひたすら国と国民の安寧を祈られ、国民の心の支えとなっておられる皇統・天皇陛下のご存在の尊さを痛感しております。

震災後間もなく発せられた陛下の御言葉には、なみなみならぬお覚悟と、国民特に被災者に対して永く寄り添うとの強い思いがひしひしと感じられ、また何度も被災者をお励ましに行幸された慈悲深い

お姿に国民斉しく大きな力と勇気を賜り、涙を流された方も多かったと思います。ご体調をお崩しになられ誠に心配ですが、陛下の御心を体して復興に励まなければならぬと思いを新たにしました。

その様な中、国民九七%が幸福だと感じているブータンの国王王妃両陛下が来日されました。我が国の現状は、また真の幸福とは何かを考えさせられました。

震災を経て多くの方が、謙虚さを忘れ、奢っていたと感じていましたが、一過性のものになりつつありますので、社会全体で律し、助け合って笑顔の満ち溢れる国家にしていかなければならないと思います。そして祈りこそ続けていかなければならない大切な事ではないでしょうか。神道に「中今(なかいま)」という言葉があります。過去・現在・未来という、

神代から子孫へ続く悠久の時間の中、永遠の命の繋がりの中で、今という大切な現在に生かされているので一時も無駄にせず一生懸命に生きなければいけない。先人から受け継いだ役目を果たして、後世に繋ぐ使命があるということです。

明くる年は新たな気持ちで臨み、昇り竜のごとく、復興が進むことを祈ります。

**夏越大祓式齋行**

神道は清浄を重んじており、全国の神社で、年に二回の大



茅の輪

祓式が執り行われている。当社においても一年の半ばの七月三日(日)午後三時より「夏越の大祓」が齋行された。

古来より「水無月の夏越の祓いする人は千歳の命のぶといふなり」とうたわれ、参列者は、境内に設けられた祓所において、「形代祓い」と「茅の輪くぐり」を行い心身の罪・穢れの一切を祓い清めた。

尚、予めお預かりした人形は、身代りにお祓いを受けた後、大海原に流された。終わりに、婦人部の協力により直会を社殿脇で行い、ともどもに残る半年の無病息災を祈った。

次回の大祓は大晦日ではなく、今年二十三日の天皇誕生日午後一時より「年越の大祓」として行われる。



形代祓いを行う様子

新年をすがすがしくお迎え頂きますようどうぞ御参列下さい。この神事は皆さんに気軽に参加頂きたいと思えます。

**新嘗祭齋行**

今年は、十一月二十三日の勤労感謝の日午後二時半より、収穫を感謝する恒例の新嘗祭が総代・若長ら参列のもと厳粛に齋行された。



新嘗祭の様子

氏子より奉納された新穀などが当日御神前に献備され、終了後の直会では、神社協力会とふるさと坪沼実行委員会、そして婦人部役員をはじめ神社に協力頂いたみんなで芋煮を食し収穫を祝った。

新嘗祭は古くから天皇陛下がその年に収穫された新穀や新酒を天照大御神をはじめめとする神々に供える大切な儀式であり、全国の神社においても穀物の豊穰と産業の発展を祈る二月の祈年祭と並ぶ大祭として執り行われる最も重要な祭儀である。今年天皇陛下におかせられましたは、御体調もあつて初めて

お休みになられました。陛下の国民の安寧を祈る大御心は、きっと大神様もお聞き届け下されると疑いありません。



互いに今年一年の労をねぎらった

**第二十三回「蛭と平家琵琶の夕べ」開催**

ふるさと坪沼実行委員会主催

七月二日(土)午後六時過ぎより神社境内で二十三回目となった坪沼の夏の風物詩「蛭と平家琵琶の夕べ」が開催された。震災もあつて、当初開催すら心配されたが、復興の為にも、皆に癒しのひと時を提供し元意により、まずまずの天候にも恵まれ、予想以上の人達を迎え盛大に開催されました。家族の絆が見直されたのもあつて、家族連れなどが目を輝かせ、出店やホテル狩りを楽しんでいました。坪沼の大切な役目を感じるとともにより一層地域挙げての内容にしていかなければならないと思えます。尚、蛭の生息地として神池の整備も継続実施しております。



たくさんの方で賑わう模擬店

**不動宮におまつりされている龍神・水神**

私の父母が金華山黄金山神社に奉職していた時、弁財天の使いである水神・蛇神と、海の神・竜神が御姿を示現され、当社の神として祀るようになったという。来年・再来年は丁度御縁年になります。

坪沼の昔めぐり

【愛宕山】 第四回



坪沼の霊峰、「トトロ山」

坪沼の最高峰愛宕山

(標高322.8m)は太

白山より少し高く、眺

望雄大で、東方太平洋

に金華山を望み、北方

に太白山、西方は蔵王

の霊峰と相対して、青

根温泉の白亜を望見でき

る。三十分程で

登頂することが出来、比

較的歩きやすい

参道となっている。

頂上には愛宕神社が鎮座

しており、祭神

は迦具土神(かぐつちの

かみ)を祀り、

火伏せ・防火に霊験の有

る神社として知

られ、かつて武神とし

ても信仰された。

神仏習合時代、山伏によ

って愛宕権現が

最近では、子供たちに

「トトロ山」と慕われ、

登る人も少なくない。

しかし、北面は岩肌む

き出しの危険な断崖

絶壁となっている。長

町・利府活断層の南端

部にあたる坪沼断層の上

にあり地殻変動

によって崩れたともいわ

れるが、近年砕

石業者により崩落部まで

山が崩されてし

まい、原型を留めていな

い。両極の趣を

見せるこの山は、自然と

人との関わり

について考えさせられる

意義深い山であり、

愛宕山は坪沼の大切に

したい宝である。



11月のウォーキングと愛宕山

御神木「さいかち」の木の幹 折れる

前号で紹介した大切な古木であったが、

六月二十四日未明の強風により、主幹が

折れ、無残な姿となった。大変残念では

あったが、皮一枚で枝が残ったので、再

生を願い、ほとんど

の枝を落として生

かした。今後も災難

から守ってもらう

為、また象徴として



幹は直径1m、空洞となっていた

別宮・不動宮の天井修理

この度、築五十年程が建とうとしている

神社向かって右側の末社である別宮の天

井が腐食し落ちてしまったので、張り替

え工事を行って頂いた。それに伴い地震

で一部外れていた壁の補修、また左側の

不動宮の天井も補強を施してもらった。

別宮に祀られている神様は、延命地藏

様・三宝荒神様・御薬師様、不動宮には

不動明王様・竜蛇神様・弘法大師様で、

古くから信仰され、昔

から人々をお守り下

されている御霊験あ

らたかな神様です。

昔から三つの御宮を

全て欠かさずお参り

するのが習わしです。



修理後の別宮の天井

坪沼カラオケ教室からのお知らせ

◎歌い初め歌謡祭 一月二十三日十一時

◎只今、歌が好きで、一緒に楽しく練習

する新入会員を募集しております。教室

は月に二回、第一・三木曜の午後七〜九時

月会費二千五百円です。お気軽にご参加

ください。(歌謡祭は体験での参加も可)

◎「坪沼小唄」を再録音し、坪沼初「せせら

ぎ姉妹」がCDデビュー、一枚五百円です。